

極早生温州「YN26」 品種特性と導入に向けてのポイント



はじめに

極早生温州「YN26」が県オリジナル品種として育成されました。高品質で食味が優れることから、西牟婁地域では「日南の姫」に続く品種として導入を推進しています。

これまでの現地栽培で明らかになった栽培技術を取りまとめましたので、品種導入に当たり、活用頂ければ幸いです。

極早生温州「YN26」とは？

- 「ゆら早生」の種子から得た珠心胚実生
- 「ゆら早生」に比べ、減酸・着色が早く、樹勢は強め、果形はやや扁平
- 高糖度で9月中下旬の出荷が可能
- 品種登録日：2012年1月20日



品種の特徴



食味が良い
→高糖度で減酸早く
じょうのう膜も薄い



トゲが発生する
→結実し始めると
次第に消失



樹冠の拡大は早め
→「ゆら早生」より早く
「日南1号」より遅め

収穫の適期



収穫日：H29. 9. 29

果皮の着色より、果肉が先に成熟する特性

完全着色(10月下旬)を待って収穫すると
減酸が進みすぎ、食味が低下

着色(2~3分程度)や減酸の推移をみながら
9月下旬までに収穫・出荷を終えることが望ましい

●西牟婁地域における品種別出荷時期の目安

| | 9月 | | | 10月 | |
|------|------|----|----|-----|----|
| | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 |
| 日南の姫 | | ■ | | | |
| YN26 | ■ ←→ | | | | |
| 日南1号 | | | ■ | | |
| ゆら早生 | | | | ■ | |

栽培管理

● 剪定、新梢管理

樹勢が落ち着くまでは、間引き主体の剪定で結実させながら樹勢維持

- ・樹勢がやや強いため、幼木時は軽めの剪定により、着果・結実を促進
- ・幼木時に発生する強い春梢や夏梢は、芽欠きにより早めに剪除
- ・枝の背面から発生した前年枝（強い夏秋梢の場合もあり）は間引く
- ・樹冠内に木漏れ日が入る程度の弱剪定とし、開花後は着蕾部位へのかぶさり枝を除去
- ・フトコロ部の細長い結果母枝を剪除（果皮が薄く裂果しやすい果実になるため）



● 結実管理

高糖度果生産に向け、S～M果を中心に生産

- ・9月中下旬に収穫期を迎えるため、早期に摘果を開始
- ・S果以上を目指すなら、7月1日に30mm未満の小果を摘果（M果以上では、7月20日に40mm以上が必要）
- ・日焼け果は表層の果梗枝が太い上向き果で発生しやすい仕上げ摘果で処理する



● 水分管理

弱めの水分ストレスを維持

- ・葉がしおれるまで乾燥させる、強い水分ストレスは不必要
- ・かん水は、果実肥大が10日間で2.5mmを下まわるのを目安に10a当たり10t（10mm）程度行う

マルチ栽培を推奨

- ・高品質果実を安定生産するには、マルチシート被覆が望ましい
- ・過乾燥は禁物のため、かん水設備の設置により、必要に応じてかん水を行う
- ・マルチの設置時期は、梅雨明け後の7月中下旬が基本



● 枝つり

枝折れ防止と果実品質の向上

- ・果実肥大にともない枝が下垂するため（特に、夏梢母枝で結実させる場合）、側枝単位の枝つりを行い、枝折れを防ぐ
- ・樹冠内部まで日当たりを良好にして、果実品質を向上させる



現地での栽培実証

平成25年度から上富田町岡に実証園(4a:41本)を設置

平成29年度は、7月18日に透湿性シートを被覆して9月29日に収穫

* 減酸促進のため9月6日から7日にかけて10a当たり20mmの点滴かん水を実施

【樹齢6年生】

・果実収量

着果が多めの樹で、20~25kg程度/樹

・果実階級・品質

階級は、S級果が主体

品質は、着色程度2~3分、平均糖度11.6、平均酸度1.13



収穫果実

透湿性シートの被覆で
ブランド果実「紀のゆらら」※の割合がアップ!(H29:約6割)

※YN26の商標で、糖度10以上

販売価格の現状

主要品種の販売価格(H29:JA紀南)



【出荷開始時期】 9月中旬~ 9月下旬~ 9月下旬~ 10月中旬~

注)日南の姫・YN26は、10月上旬で出荷が終了

「YN26」は、9月中に販売される品種の中で、最も高価格で販売

「YN26」導入の方向および留意点

【導入方向】

- ・9月下旬までに収穫終了する品種として導入
- ・「日南の姫」および「日南1号」からの転換品種

【留意点】

- ・水はけが良く、かん水可能な園地が望ましい
- ・水はけの悪い水田転換園や日当たりが悪い園地では糖度が上がりにくい



【問い合わせ先】 西牟婁振興局農業水産振興課 (TEL:0739-26-7941)

JA紀南営農指導課 (TEL:0739-25-5720)

【作 成】 西牟婁農業プロジェクト協議会、平成30年3月